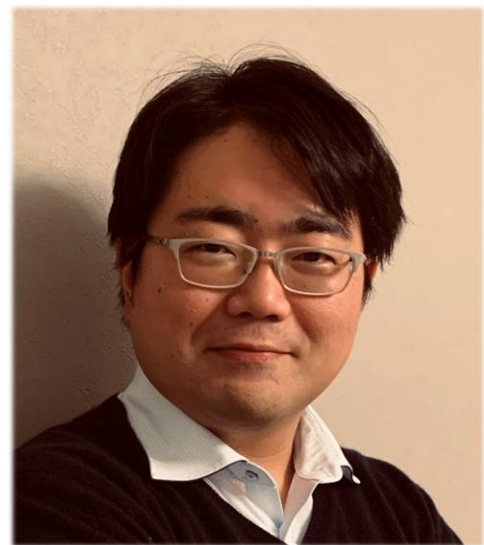


令和3年度 感染症公開セミナー

# 新型コロナウイルスの流行制御の 実践における数理モデルの貢献

北海道大学 人獣共通感染症国際共同研究所  
バイオインフォマティクス部門 准教授

## 大森 亮介先生



専門は理論疫学、数理生物学、感染症疫学。九州大学理学部を卒業後、同大学にて修士号（理学）および博士号（理学）を取得。香港大学李嘉誠医学院公衆衛生学院博士研究員、Weill Cornell Medical College in Qatar 博士研究員を経て現職に至る。

インフルエンザウイルス、HIV、新型コロナウイルスなど感染症全般を対象に、数理モデルの構築および数理モデルによるデータ解析を行っている。流行予測が困難な感染症の流行予測の手法の考案や、複雑な流行ダイナミクスの解明、および、疫学データから病原体や宿主の生態の解明を行っている。

【ご講演要旨】 昨今、新型コロナウイルスの流行により、感染症の流行制御は重要な社会的課題として認識されている。感染症の流行制御には流行の現状の把握、そして、学級閉鎖やワクチンといった介入による流行の変化を理解する必要がある。これらの理解には、感染症の流行の数理モデルがよく活用されてきた。この講演では、なぜ数理モデルが感染症の流行の解析に使われてきたのか、そして、数理モデルによる新型コロナウイルスの流行の解析ではどのような問題点があり、どのような打開策が考えられるかを発表者の研究を紹介し、議論する。

2021年

12月9日(木) 16:00-18:00

宮崎大学農学部 L204教室

ZoomによるWeb配信

(木花キャンパス 宮崎市学園木花台西1丁目1番地)

定員：30名（オンライン参加：150名）、参加費無料

※宮崎県外在住の方はオンラインでご参加ください

※会場参加の際はマスクの着用にご協力ください／学内の駐車場をご利用ください（無料）

参加申込方法：右記申込フォーム <https://forms.gle/tGqp8gVhV3MKUzMR8>

または 宮崎大学産業動物防疫リサーチセンター（CADIC）ウェブサイトより

<https://www.miyazaki-u.ac.jp/cadic/index.php>



お申込みはこちら！



<https://00m.in/Q9b30>

【主催】宮崎大学 産業動物防疫リサーチセンター 人獣共通感染症教育・研究プロジェクト  
【共催】宮崎大学HTLV-1/ATL総合診療研究ファシリティ、宮崎大学医学獣医学総合研究科

【お問い合わせ】 兼子 千穂

宮崎大学 産業動物防疫リサーチセンター 人獣共通感染症教育・研究プロジェクト

TEL・FAX: 0985-58-7274 / E-mail: [ckaneko@cc.miyazaki-u.ac.jp](mailto:ckaneko@cc.miyazaki-u.ac.jp)



宮崎大学  
University of Miyazaki

